



2025年（令和7年）

定時社員総会・理事会

第16期

2024年4月1日～2025年3月31日

日 時：2025年6月22日（日）

場 所：難波産経ビル8階802会議室

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2025年（令和7年） 一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日 時 2025年6月22日（日）

- ・理事会：10時30分～
- ・社員総会：14時00分～

○場 所 難波産経ビル8階802会議室（大阪市浪速区湊町2-1-57）

☆出席人数：合計59票（出席総数85票の内、理事：出席委任16、終身会員：出席委任6、都道府県協会：出席委任6、AB団体：出席委任31）

※総数85票：（理事16、終身9、都道府県協会13、A・B団体チーム47）

◎定款第12条により総会の議長は理事長がこれに当たる。また決議は出席・委任社員の過半数をもって行う。

○第1号議案

- ・2024年度事業報告、2024年度登録チーム報告

○第2号議案

- ・2024年度決算報告（承認事項）⇒承認

○第3号議案

- ・2024年会計監査、業務外部監査報告（田中豪会計監査）
- ・正味財産増減計算書との調整表の説明（壇税理士）
- ・財務諸表（壇税理士）

○第4号議案

- ・2025年度予算（承認事項）⇒承認

○第5号議案

- ・2024年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細報告

○第6号議案

- ・2025年度事業計画と関連大会日程の予定

○第7号議案

- ・各専門委員会2024年度報告と2025年度方針（各専門委員会委員長より）

○第8号議案

- ・理事への謝金の承認について（承認事項）⇒承認
- ・海外大会参加チームのウェアー規定について
- ・新規、都道府県協会の発足について
- ・2025年6月—2027年6月までのJDBA役員改選について（承認事項）⇒承認
- ・その他

【第1号議案1】

2024年度事業報告

2024年4月1日～2025年3月末まで

【2024年国内大会】 ●はJDBA主催の選手権大会

- 4月28日(日) いさドラゴンカップ2024(鹿児島県伊佐市) 後援
- 5月19日(日) 東京ドラゴンボート大会2024(東京・お台場) TDBA 主催
- 6月9日(日) 250m タイム測定会 ODBA 主催
- 7月14日(日) 天神祭奉納2024 日本国際ドラゴンボート選手権 兼
スモールドラゴンボート関西選手権(大阪・天満橋)
【第17回世界ドラゴンボート選手権スタンダード選考会】 JDBA 主催
- 8月4日(日) 14th九頭龍ドラゴンボート大会 大会実行委員会主催、JDBA 後援
- 8月31日(土) びわこペーロン(延期)
- 9月1日(日) 第19回ドラゴンキッズ選手権大会(延期)
- 9月15日(日) AIOI DRAGON BOAT FESTIVAL 2024(兵庫・相生市)
NPO 法人相生すぼ一つ NET 主催
- 9月29日(日) 第12回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津市)
SDBA 主催、JDBA 共催、【第17回世界ドラゴンボート選手権スモール選考会】
- 10月6日(日) 第11回名古屋中川運河ドラゴンボート大会 愛知県協会主催
- 10月14日(月・祝) 大阪府民スポーツ大会 ODBA 主催
- 10月19日(土) 20日(日) ドラゴンボート海の森オープン(東京・海の森)
【第17回世界ドラゴンボート選手権スタンダード選考会】 TDBA 主催、JDBA 共催
- 10月26日(土) 第19回ドラゴンキッズ選手権大会、びわこペーロン
- 10月27日(日) K I X国際交流ドラゴンボート選手権(大阪・関西国際空港)
KIX ドラゴンボート大会実行委員会主催(JDBA 主催)
- 11月3日(日) 第15回小松川地区・東大島大会(東京・江戸川区) 東京龍舟主催
- 11月10日(日) 第14回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ 静岡ドラゴンボート協会主催
- 11月10日(日) 宇治源平龍舟祭 KDBA 主催
- 【国際大会】
- 2024年9月3日～8日、Ravenna, Italy 14th IDBF クラブクルー世界選手権
- 2024年10月11日～13日 HongKong 15th Asian Dragon Boat Championships
- 2024年10月25-27日 マレーシア・サラワク州ドラゴンボートレガッタ 州政府主催
- 2024年12月 グアム国際ドラゴンボートフェスティバル ACES 主催

【第1号議案2】

2024 年度 JDBA 団体登録チーム(順不動)

A 団体登録チーム 13 チーム、昨年 9 チーム、2 年前 8 チーム、3 年前 5 チーム 4 年前 1 チーム 5 年前 10 チーム 6 年前 7 チーム

① bp(大阪)	② TOKYO DRAGON(東京)	③ すいすい丸(京都)
④ 関西龍舟シブ(兵庫)	⑤ 東京龍舟(東京)	⑥ 磯風漕友会(兵庫)
⑦ FUJIYAMA(東京)	⑧ オキナワ老龍(沖縄・豊見城)	⑨ 湘南龍舟 Paddlers(神奈川)
⑩ 津奈木海龍 A(熊本)	⑪ 関西龍舟ムファサ(兵庫)	⑫ すいすい丸 BOM-BA-YE(京都)
⑬ TOKYO DRAGON マスターズ(東京)		

B 団体登録チーム 34 チーム、前年 40 チーム 2 年前 21 チーム 3 年前 17 チーム 4 年前 20、5 年前 40、6 年前 51、

① すきやねん大阪(大阪)	② チーム未来(大阪)	③ 池の里 Lakers!(滋賀)
④ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	⑤ 津奈木海龍 B(熊本)	⑥ 関西龍舟バーバリアンズ(兵庫)
⑦ Team BANANA(兵庫)	⑧ ビューティープレミア MIX(大阪)	⑨ Jungle Mania(東京)
⑩ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑪ 吹田龍舟倶楽部(大阪)	⑫ Stronger Together(東京)
⑬ INO-G(埼玉)	⑭ @'s(東京)	⑮ IHI 相生(兵庫)
⑯ ROA's(千葉)	⑰ 関空飛龍(大阪)	⑱ IHI 瑞龍丸(東京)
⑲ Bon Oyage(東京)	⑳ CIC RISING STAR(東京)	㉑ うみひ(静岡)
㉒ R スポーツマンクラブ(大阪)	㉓ チーム風(大阪)	㉔ TAITAM X DRAGONS(神奈川)
㉕ 小寺製作所(滋賀)	㉖ DragonBoat Club G.P.O(滋賀)	㉗ チャイナドールチマキ(東京)
㉘ 魚橋水神龍会(兵庫)	㉙ 近畿車両電龍(大阪)	㉚ 打艇龍舟倶楽部(大阪)
㉛ NBS(東京)	㉜ TOKYO DRAGON INT'L(東京)	㉝ ビワカラ(滋賀)
㉞ BIWA 恋(滋賀)		

都道府県協会登録 13 団体 ※2024 年度から1団体増加

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 宮崎県ドラゴンボート協会
⑬ 熊本県・水俣市競り舟協会		⑭

終身会員(五十音順)9名

伊藤健一	井上信一郎	後藤幸弘	菖蒲誠	谷達也	原田直己
前嶋清	矢田節彦	宮村一			

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数

A、B 団体 1都2府8県・合計47チーム

県名	2024 年度 47チーム	2023 年度 49チーム	2022 年度 36チーム	2021 年度 22 チーム	2020 年 21チーム	2019 年度 49チーム	2018 年度 58 チーム	2017 年 61 チーム
埼玉県	1	1	2	0	1	2	2	3
千葉県	1	1	1	1	2	0	0	0
東京都	14	16	13	4	6	14	16	17
神奈川	2	2	1	1	2	0	4	4
静岡県	1	1	2	1	0	1	1	2
愛知県	0	0	0	0	0	1	1	1
京都府	2	2	1	1	0	1	1	1
滋賀県	6	5	4	4	1	4	5	4
大阪府	10	11	7	6	8	12	18	16
兵庫県	7	7	4	4	0	10	7	9
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	0	0	1	1	1
広島県	0	1	0	0	0	0	0	0
鳥取県	0	0	0	0	0	1	1	1
熊本県	2	0	0	0	0	1	0	1
鹿児島	0	0	0	0	0	1	0	0
沖縄県	1	2	1	0	0	0	1	0

【第2号議案】

決算報告(承認事項) ⇒ 承認

事務局

2024年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

(2024年4月1日～2025年3月末まで)

(総収入)24,078,297円－(総支出)21,610,070円＋(2024年度繰越金)3,185,355円＝5,653,582円(2025年3月末時点通帳残金額 ※内、新艇積立金80万円含む)

1. 収入の部(税込)

収入項目	2024年度予算	2024年度決算	増減	内訳
1. 会費・登録料	800,000	1,368,500		A、団体・A個人 B 団体登録料
2. 検定料	300,000	145,500		パドル・バチ検定料
3. 主管料	300,000	250,000	海の森大会なし	びわこスモール選手権
4. JDBA HP 広告料	2,000,000	2,200,000		JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5. 通帳間移動	0	2,536,490		
6、日本選手権ト ーピングくじ助成	0	0		ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7、日本選手権 2024 大会収入(明細)				※P17 に詳細を記載
・基金助成金	4,800,000	4,800,000		日本スポーツ振興センターより基金大会助成金
・参加料	4,200,000	4,450,000		日本選手権大会参加料
・協賛金	1,000,000	1,133,000		
・通帳間移動	3,000,000	3,200,000		
・雑収入(利息)	0	68		本体通帳より助成通帳へ
・戻し金	2,800,000			
8、雑収入(利息) (利息②)	10,000	2,336 143		普通預金利息ほか
9、CCWC 経費・ 東京都補助金	2,190,000	2,199,260		東京都補助金
10、HP 改訂に伴う くじ助成金	1,293,000	1,293,000		JSC 助成金
11、新艇購入積立	0	500,000		
小計	22,693,000	24,078,297		
前年度繰越金	2,881,398	3,185,355		
収入合計	25,574,398	27,263,652		

2. 支出の部(税込)

支出項目	2024 年度予算	2024 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	300,000	309,545		IDBF、水上安全協会、 ワールドゲームズ会費ほか
2. 宿泊交通費国内 海外旅費	200,000 150,000	222,589 150,000	アジア選手権派遣	国内役員移動交通費 海外役員派遣交通費
3. HP サイト管理料	275,000	275,000		HP管理費
税理士司法書士経費	450,000	323,244		会計処理費、税金等
事務所費	250,000	749,593		事務所費
4 通信費・郵券	30,000	24,905		IDBF 会費送金手数料
5. 会場借上げ	0	0		総会会場を産経に変更
6. 消耗品・補修費	0	0		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	25,835		日本選手権会打合せ
8. 地方協会分配金	250,000	124,350		東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカヌー返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	450,000	412,500		大阪・南港にカバー付き で5隻保管
11 貸出金(通帳間移 動)	3,500,000	3,200,000		JDBA 本通帳から助成 通帳へ移動
12日本選手権 2024 年大会経費明細	13,000,000	13,583,068		※詳細は P17 参照
13新艇購入積立金	500,000	500,000		通帳間移動
14HP 改訂費用	1,617,000	1,617,000		株エムダブ
15 税金	100,000	44,924		
16CCWC 手土産	0	47,517		
17 選手強化費	150,000	0		
小計	21,252,000	21,610,070		
予備費	4,322,398	5,653,582		
支出 合計	25,574,398	27,263,652		

第 1 6 期

財 務 諸 表

自：令和 6年 4月 1日

至：令和 7年 3月31日

〒556-8663
大阪市浪速区湊町 2-1-57

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 長谷川 伸

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,653,582	3,185,355	2,468,227
未収金	0	2,197,750	△2,197,750
流動資産合計	5,653,582	5,383,105	270,477
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	5,653,591	5,383,114	270,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	12,252	9,189	3,063
仮受金	100	100	0
流動負債合計	12,352	9,289	3,063
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	12,352	9,289	3,063
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	5,641,239	5,373,825	267,414
正味財産合計	5,641,239	5,373,825	267,414
負債及び正味財産合計	5,653,591	5,383,114	270,477

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	1,618,500	866,000	752,500
事業収益			
事業収益	7,928,500	7,633,000	295,500
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	2,197,750	△2,197,750
受取民間助成金	6,093,000	5,492,000	601,000
受取補助金等計	6,093,000	7,689,750	△1,596,750
雑収益			
受取利息	2,413	37	2,376
雑収益	1,644	320,624	△318,980
雑収益計	4,057	320,661	△316,604
経常収益計	15,644,057	16,509,411	△865,354
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	489,389	2,669,664	△2,180,275
通信運搬費	110,000	94,256	15,744
消耗什器備品費	151,965	162,943	△10,978
消耗品費	334,500	157,080	177,420
印刷製本費	0	140,800	△140,800
光熱水料費	126,224	140,616	△14,392
賃借料	285,350	255,750	29,600
保険料	112,560	90,600	21,960
支払負担金	374,000	369,000	5,000
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	11,370,963	10,098,621	1,272,342
雑費	287,574	388,097	△100,523
事業費計	13,792,525	14,717,427	△924,902
管理費			
交際費	66,920	287,845	△220,925
旅費交通費	28,000	33,000	△5,000
通信運搬費	520	4,950	△4,430
消耗什器備品費	0	4,360	△4,360
消耗品費	954	0	954
租税公課	50,000	50,450	△450
支払負担金	94,545	94,580	△35
支払寄付金	0	100,000	△100,000
委託費	1,168,000	395,971	772,029
雑費	175,179	229,235	△54,056
管理費計	1,584,118	1,200,391	383,727
経常費用計	15,376,643	15,917,818	△541,175
評価損益等調整前当期経常増減額	267,414	591,593	△324,179
当期経常増減額	267,414	591,593	△324,179
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
税引前当期一般正味財産増減額	267,414	591,593	△324,179
当期一般正味財産増減額	267,414	591,593	△324,179
一般正味財産期首残高	5,373,825	4,782,232	591,593
一般正味財産期末残高	5,641,239	5,373,825	267,414
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,641,239	5,373,825	267,414

第 2 号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	24,078,297
東京都補助金	△2,197,750
通帳間移動	△3,200,000
通帳間移動	△2,536,490
通帳間移動	△500,000
正味財産増減計算書	
経常収益計	15,644,057

支出の部	21,610,070
通帳間移動	△3,200,000
通帳間移動	△2,536,490
通帳間移動	△500,000
源泉所得税	47,987
源泉所得税納付	△44,924
正味財産増減計算書	
経常費用計	15,376,643

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果
第 2 号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

【外部監査報告】

2024年度 会計監査について

2024年度の一般社団法人日本ドラゴンボート協会の決算関係書類、通帳について監査したところ、いずれも正当、妥当に処理されていました。

2025年6月18日

税理士・公認会計士

田中 豪



【第4号議案】

2025年度予算(承認事項)⇒承認

事務局

2025年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2025年4月1日から2026年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	2024年度決算	2025年度予算	増減	内訳
1. 会費・(登録料)	1,368,500	1,000,000		A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	145,500	150,000		パドル検定代
3. 主管料	250,000	250,000		,琵琶湖スモール、海の森大会
4. JDBA HP 広告料	2,200,000	2,000,000		協会 HP パナー広告料サンス ホ掲載料
5. 通帳間移動	2,536,490	2,500,000		助成通帳から本通帳
6. 日本選手権 ・基金助成金 ・参加料 ・企業協賛金 ・借入金	4,800,000 4,450,000 1,133,000 3,200,000	5,500,000 4,450,000 500,000 3,000,000	JSC 助成減少	2024年くじ助成金 44チーム参加 大王製紙予定 本通帳から助成通帳へ
7 雑収入	2,547	3,000		普通預金利息ほか
8 CCWC 東京都補助金	2,199,260	0		CCWC 誘致調査費 東京都補助金
9, HP改訂に伴うくじ助成金	1,293,000	0		2024年度 JSC くじ助成金
10、新艇購入積立金	500,000	500,000		通帳間移動
小計	24,078,297	19,853,000		
前期繰越金	3,185,355	5,653,582		前年度通帳繰越
収入合計	27, 263, 652—	25, 506, 582—		

2. 支出の部

支出項目	2024年度決算	2025年度予算	増減	内訳
1. 会費, IDBF 登録費など	309,545	300,000		IDBF、JDA 会費など

2. 旅費				
国内旅費	222,589	0		海外役員
国際委員会海外補助	150,000	150,000		
3. 事務所費	275,000	275,000		HP管理
	323,244	350,000		会計処理費
	749,593	750,000		事務所費
4. 通信費・郵券	24,905	30,000		振込手数料
5. 消耗品費	0	0		ボート修理費
6. 会議費・打合せ費	25,835	30,000		天神大会来賓食事代
8. 地方協会分配金	124,350	150,000		
9. ハイスピードカメラ返済金	0	0		27年7月まで
10. ドラゴンボート5艇保管料	412,500	450,000		5艇を大阪南港に保管
11. 貸出金(通帳間移動)	3,200,000	3,000,000		助成通帳から本通帳へ返金
12、2024 日本選手権大会経費	13,583,068	13,500,000		経費詳細はP17 参照
13、新艇購入積立	500,000	500,000		通帳間移動
14、HP 改訂費用	1,617,000	0		(株)エムダブ
15、税金	44,924	50,000		浪速税務署
16、CCWC 誘致手土産	47,517	0		香港 DB 協会
小計	21,610,070	19,535,000		
予備費	5,653,582	5,971,582		
合計	27, 263, 652	25, 506, 582—		

※別通帳にドラゴン艇購入資金として 50 万円を通帳間移動する。

【第5号議案】

2024日本国際ドラゴンボート選手権収支明細



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

本大会は、日本スポーツ振興センター(JSC)の基金助成を受けて開催しています。
本収支明細は、JSCに提出した報告書に基づいて作成しています。

収 支 決 算 書

○行事等の名称：天神祭奉納 2024 日本国際ドラゴンボート選手権大会

○開催日：令和6年7月14日（日）

○主催者等名：一般社団法人日本ドラゴンボート協会、天神祭渡御行事保存協賛会

1. 収入の部（税込み）

費目	内訳	金額（円）
前期繰越金		0
JDBA 自己負担額	一般社団法人日本ドラゴンボート協会	663,578
参加料	◇20人漕ぎ1チーム12万円×19チーム=228万円、シニア11万円×4チーム=44万円、海外11万円×2チーム=22万円 ◇10人漕ぎ1チーム7万円×国内19チーム=133万円、海外6万円×3チーム=18万円	4,450,000
協賛金等	特別協賛社協賛金	1,100,000
助成金（基金助成）	JSC 日本スポーツ振興センター	4,800,000
雑収入	大会プログラム広告	33,000
合計		11,046,578

2. 支出の部（税込み）

費目	内訳	金額（円）
陸上会場費（レイトサービス㈱）	八軒家浜、南天満公園会場	2,420,000
陸上音響費（大阪音研㈱）	八軒家浜、南天満公園会場	473,000
陸上会場費（アイリス㈱）	八軒家浜、シャワー設置費	172,700
水上会場費（広瀬産業海運）	7/14 天満橋一天神橋間の大川250mコースブイ設置費	2,937,000

使用料	八軒家浜棧橋使用料、八軒家公園使用料、南天満公園使用料	133,550
交通費（東京—大阪間往復）	国内2名	56,000
新聞広告費（産経新聞社）	サケイスポーツ大阪本社版10段	990,000
運送費（大翔トランスポート）	競技資材運搬（大阪南港から天満橋往復）	110,000
保険料	選手・スタッフ傷害、イベント保険	112,560
大会陸上運営費（サケイスポーツ）	サケイスポーツ営業推進部	800,000
陸上警備費（ガードマン・セフトイプロモーション(株)）	7-13-14 八軒家会場、南天満公園会場警備費用	350,350
大川河川監視艇費	7/14 天満橋—天神橋間	880,000
プログラム印刷製本代	大会プログラム製作代	0
廃棄物処理代（甲南サービス）	ゴミ処理代 南天満、八軒	99,000
借料（㈱テレコム）	スタッフ無線機レンタル料	96,800
競技主管料	大阪府ドラゴンボート協会	150,000
表彰金品（㈱アサコ）	各種目1—3位表彰	151,965
立替金（サンスポ）	資材購入費など	415,413
宿泊費	競技役員宿泊費	88,800
謝金	司会・実況代	49,895
初穂料	大阪天満宮	150,000
手数料	銀行振込手数料	8,965
大会審判艇1隻借料	大阪水上バス(株)	55,000
雑費	氷代、弁当代、会費	345,580
合計		11,046,578

※一般社団法人日本ドラゴンボート協会は自己負担金として不足金を負担。

（留意点）

- ・収入合計と支出合計は原則一致させること。
- ・収支に過不足が生じている場合は、その原因及び対処方針を明記すること。

【第6号議案】 2025年JDBA関連大会日程（予定） 6月9日現在

【2025年国内大会】

- 4月6日（日）Sakura Dragonboat Cup 2025（滋賀県）超越龍舟研究所主催
- 4月27日（日）いさドラゴンカップ2025（鹿児島・伊佐市）JDBA後援
- 5月11日（日）宇治源平龍舟祭（宇治市・宇治川）KDBA主催
- 5月18日（日）東京ドラゴンボート大会2025（港区・台場）TDBA主催
- 6月1日（日）大阪府民スポーツ大会（府立漕艇センター）ODBA主催
- 7月27日（日）第50回記念みなまた競り舟大会（水俣川河口）水俣市主催
- 7月20日-21日（祝・月）第18回豊見城ハーリー大会（沖縄・豊見城）JDBA後援
- 8月3日（日）第15回九頭竜ドラゴンボート大会（福井県・九頭竜川）JDBA後援
- 8月23日（土）びわこペロン（大津市）びわ湖放送主催 SDBA主管
- 8月24日（日）第20回ドラゴンキッズ選手権大会（大津市）SDBA主催

●9月7日（日）ドラゴンボート海の森オープン（江東区・海の森）

【第16回アジアドラゴンボート選手権スタンダード種目選考会】TDBA主催、JDBA共催

- 9月21日（日）第16回小松川地区・東大島大会（東京・江戸川区）東京龍舟主催
- 10月5日（日）第19回KIX国際交流ドラゴンボート大会（泉佐野市・関西国際空港）
KIXドラゴンボート大会実行委員会主催 JDBA主催 ※荒天の場合は10月12日に延期
- 10月12日（日）第15回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ（清水市）SDBA主催
告知情報のURL：<https://www.c-sqr.net/c/sdbadragonboat/announces/8148>
- 10月12日（日）みなまたパドルフェスティバル2025（熊本県・水俣市）競り舟協会主催
- 10月19日（日）第12回名古屋・中川運河ドラゴンボート大会（愛知県・名古屋市）
- 10月19日（日）ドラゴンフェス（琵琶湖横断ロングライド）実行委員会主催 SDBA主管

●11月2日（日）天神祭奉納2025日本国際ドラゴンボート選手権 兼 大阪府知事杯
スモールドラゴンボート関西選手権（大阪市）※荒天の場合は11月9日に延期

【第16回アジアドラゴンボート選手権スタンダード種目選考会】JDBA主催

●11月16日（日）第13回スモールドラゴンボート日本選手権（大津市・琵琶湖 BOAT）
SDBA主催、JDBA共催、【第16回アジアドラゴンボート選手権スモール種目選考会】

【25-27年国際大会】

- 2025年7月16日～20日 17th World Dragon Boat Racing Championships
（IDBF主催：ドイツ・ブランデンブルク州）
- 2026年 16th Asian Dragon Boat Championships（ADBFC主催：開催地未定）
- 2026年 16th IDBF クラブクルー世界選手権（台湾・花蓮市）
- 2027年 5月 ワールドマスターズゲームズ 関西（関西広域行政・滋賀県・大津市主催）

【第7号議案】 専門委員会報告

国際委員会 2024 年度活動報告及び 2025 年度活動予定 森永委員長

1. 海外からの問い合わせや日本からの選手権派遣の対応（大会関係報告含む）

国内外大会への問い合わせや日本選手権大会などの参加要項に関する問い合わせや申し込みに都度対応した。

なお、問い合わせ対応において、コロナ禍明けで問い合わせが増えていること、海外チームの要望としては渡航準備のため早めの予定が必要、（予定は1月、日程などの確定は3-4月頃までが望ましい）

担当：松尾（国内大会）、野尻（日本からの選手権派遣対応）

2. 2024 年度国際大会 ※いずれの大会も JDBA から大会役員・審判派遣あり

①6/15-16 香港国際ドラゴンボート大会

mix championship 準決勝 5 位（前回 9 位）

mix grand championship 決勝 8 位（前回準決勝 4 位）

②10/11-13 15th ADBF DB 選手権

場所：香港（菖蒲・競技副委員長）

カテゴリ：small 100m, 200m, 500m

資料：<https://www.jdba-dragonboat.com/news/1602/>

③10/24-27 第 10 回サラワクドラゴンボートレース

場所：マレーシア クチン（菖蒲・競技委員長）

カテゴリ：small open 出場チーム名：Lake Biwa

資料：<https://www.jdba-dragonboat.com/news/1659/>

※6/10 スタンレー国際大会 Stanley Main Beach HKG 在 HKG 日本チーム参加

◆今後の国際大会予定

①16-20 July 2025 17th IDBF WDBRC Brandenburg an der Havel, Germany

②5-10 Sep. 2026 15th IDBF CCWC Liyu Lake, Hualien County, Taiwan

③Aug. 2027 18th IDBF WDBRC 場所：Kwung Tong Promenade, Hong Kong, China

3. その他

・アジア選手権大会期間中に開催された ADBF 総会(10月12日)において、菖蒲氏が副会長に就任されました。

・選手権以外の海外大会に出場される場合、現地事務局とのやり取りなど、国際委員会でサポートさせていただきます。お気軽にお知らせください。

4. 国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在 30 名の国際審判員資格保持者がいます。国際審判員を日本において普及することは、国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会での審判経験による安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。2027年にはワールド・マスターズ・ゲームズでドラゴンボート競技が琵琶湖で開催されることになっており、国際審判員のさらなる普及とレベルアップが必要です。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。

(事業報告)

コロナ化も明け各地方協会で開催される大会も戻りました。その中で参加チームにもよりますがメンバーが戻らず、大会に参加できない、またギリギリでの参加等がありました。各地方協会から要望などの意見は有りませんでした。某テレビ番組の台湾訪問でドラゴンボートが有りタレントはまったく知らない様で残念に感じました。

(評議委員会事業計画)

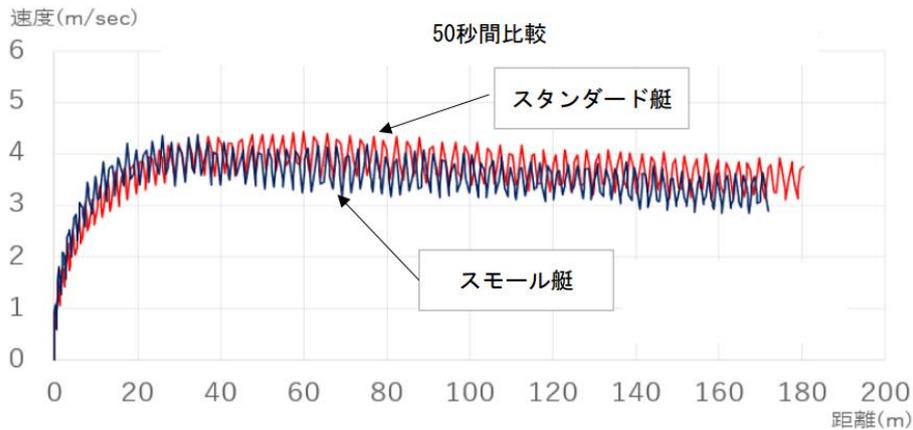
滋賀県協会から 2027 年開催のワールドマスターズゲームズ 2027 関西での役員及びスタッフ（英会話可能）の協力依頼 求められています。審判委員会と協力のもと呼びかけていきます。ドラゴンボートの記名度を高め若い方々に興味を持たせ競技 大会に多くの参加チームが出来る様に広報委員会と共に協力し進めてまいります。

科学技術委員会の 24 年度振り返りと 25 年度方針

報告者：後藤幸弘・松田光弘・村田和隆・田中 謙・越智祐光

2024 年度報告

- (1) 2024 年度の日本国際ドラゴンボート選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討した。
- (2) 第 12 回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討した。
- (3) 「ドラゴンボートの科学」作成に向けて関連する研究資料の収集を行った。
- (4) 2022 年のスモール艇とスタンダード艇によるスモールドラゴンボートレースの速度曲線・ピッチ・ストロークの関係について（大阪産業大学人文社会科学編論集に投稿中）
2015 年以降の大川会場でのスタンダード艇による 20 人漕ぎレース（オープン 7 チーム，混合 12 チーム）と同じくスタンダード艇による 10 人漕ぎレース（20 チーム）ならびに、2015 年以降琵琶湖会場のスモール艇による 10 人漕ぎのレース（オープン 9 チーム，混合 12 チーム，女子 2 チーム）を対象とした。



①スタンダード艇・スモール艇における速度曲線には、艇種の違いは認められず 250m 全体の速度曲線パターンは近似していた。

②スタンダード艇においてスタート直後の加速はスモール艇に劣り、最高速度出現以降の速度はスモール艇よりも高くなっていることから、艇重量がレース速度に影響を及ぼす一因であると考えられた。

③250m を漕ぎきる総ストローク数は、スタンダード艇に対してスモール艇の方が多くなる傾向が認められた。一方、平均ストローク長はスタンダード艇の方がスモール艇よりも長くなっていた。すなわち、スモール艇の方がピッチ漕ぎになる傾向が認められた。

④スタンダード艇に必要な漕ぎ手の体力として 1 ストロークで重い艇を推進させるための最大筋力、一方のスモール艇に必要な漕ぎ手の体力として高いピッチ数を維持するための筋持久力が必要であると考えられた。

⑤スモール艇レースでは最高速度を高める課題が重要といえる。

2025 年度方針

- ① 10月5日予定の関空大会において GPS システムやテレメータ方式を用いて、速度曲線パターンの相違の要因を総合的に検討する。
- ② 11月2日の日本選手権において GPS システムやテレメータ方式を用いて、速度曲線パターンの相違の要因を総合的に検討する。
- ③ 11月16日の13回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）において GPS システムやテレメータ方式を用いて、速度曲線パターンの相違の要因を総合的に検討する。
- ④ 「ドラゴンボートの科学」作成に向けて関連する研究資料の収集・調査を行う。

以上

2024 年度理事会・総会：普及広報委員会活動報告

2025 年 6 月 11 日

一般社団日本ドラゴンボート協会

普及広報委員会 委員長 合田 靖海

2024 年度総括

- ・日本選手権はじめ、特派員方式による、各大会の取材投稿を行っていく
参加チームとの交流各地方大会イベントの情報共有のための関係性作り。
- ・各委員会との連携で、普及広報活動を促進して行きたいと考えています

【広報活動】

◆Facebook JDBA ページへの投稿（ ）はご協力頂いた特派員からの投稿）

・東京ドラゴンボート大会 2024 / 【ドラゴンボートフェスティバル】巨大ボートがギネス世界記録に認定！長さ 100.987m で乗船可能人数は 420 人 中国 / 第 17 回豊見城ハーリー大会告知 / 2023 年度理事会総会・2024 日本国際ドラゴンボート選手権大会 / 長崎ペロン大会 / 第 14 回九頭龍ドラゴンボート大会 / 海外レースへのお誘い：マレーシア・ボルネオ島、グアム島 / 第 12 回スモールドラゴン日本選手権大会 / 第 15 回アジアドラゴンボート選手権大会 / the Sea Forest Open / サラワク国際ドラゴンボート大会(菖蒲さん) / アジアドラゴンボート連盟 理事会・総会（松尾さん） / 切り絵作家制作の作品「ドラゴンボート」 / 第 18 回 KIX 国際交流ドラゴンボート大会 / 第 14 回ツナカップ（伊藤さん） / 2024 宇治大会 / Guam Int'l Dragonboat Festival



切り絵作家作品「ドラゴンボート」

【普及活動：丸山委員より】

- 2024 年 8 月 8/4(日) 安全啓蒙活動 安全講習会・練習拠点を同じくするローイングチームとの合同開催・練習航路の安全対策・鶴見消防署員によるローブワーク、AED 講習・小龍を使った転覆時対応訓練
- 2025 年 2 月 2/7(金)～2/11(月) 海外交流 香港大潭 (Taitam) 村訪問
- 5/3(祝・土)、5/25(日) 普及活動 舵講習会・横浜ドラゴンボート協会からの委託で昨年に続き 2 回目の実施。横濱ドラゴンボートレース参加の初心者チームへの舵取り講習

【アクセス状況】

◆協会公式サイト	◆JDBA 公式 Facebook ページ
2022 年度訪問者数：37,000 人	2022 年度フォロワー 1,830 人
2023 年度訪問者数：38,000 人	2023 年度フォロワー 1,953 人
2024 年度訪問者数：31,000 人	2024 年度フォロワー 2,068 人

2025 年度の活動方針

- ・日本選手権はじめ、特派員方式による、各大会やニュースの取材投稿を行っていく
- ・各委員会との連携で、普及広報活動を促進して行きたいと考えています
- ・地域の団体・チームとの交流

<2024 年度活動報告>

2024 年 10 月 11 日～13 日 第 15 回アジアドラゴンボート選手権大(香港)へ、日本から磯風漕友会が、オープンスモールカテゴリーへ参加。23 年度の日本選手権代表選考会の結果を受けての派遣となった。結果詳細及び全体総括については磯風漕友会の参加報告書を参照いただきたい。

結果;スモールボートオープンカテゴリー 100M 4 位、200M 5 位、500M 7 位

アジアトップ 3 は中国、台湾、タイであり、総合的な漕力は大きな差がある。ここは参加した磯風のメンバーが痛感した部分であり、日本国内ではほとんど負けなしの磯風でも海外トップチームとの漕力の差を認識することで、競技力向上への課題を見つけることができる。国際大会への定期的な参加の意義を改めて認識したと同時に、日本チームの競技力向上を期待したい。

香港は 2027 年度 IDBF 世界選手権のホストでもあり、国際大会の運営にも注力している。会場施設の設営、競技役員の実験値、宿泊施設との利便性など、アスリートファーストを体感できる総合的な大会運営力も磨いている。日本も大いに参考としたい。

<2025 年度計画>

2025 年 7 月 16～20 日 第 17 回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権大会
(ドイツ・ブランデンブルグ)

参加予定チーム ; (プレミアカテゴリー) スタンダードミックス ; 東京龍舟

(シニアカテゴリー) A スモールオープン ; 沖縄老龍、A スモールミックス ; 東京龍舟 A スタンダー

ドオープン ; FUJIYAMA A スモール女子 ; 湘南龍舟 Paddlers C スモールオープン ; 東京龍舟

いずれも 2024 年度代表選考会の結果、代表権を持つチームの調整により決定したもの。

2025 年度の国内選考会の結果を受けて、26 年度の代表チーム派遣を行う。

以上

(JDBA 審判員数)

- ・2025 年度 国内合計 290 名 上級 72(昇級 2) A 級 26(昇級 5)、
B 級 50(昇級 5) C 級 142 (昇級 8)

【第 8 号議案】 その他

① 2025 日本選手権における JDBA 理事 16 名への役員謝金 (1 日 2000 円)

支払いについて (理事会・総会承認事項) ⇒承認

2025 年 11 月 2 日開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加する JDBA 理事 16 名に対して、謝金として 1 人 2000 円を支払う件。

② 海外大会参加時のチーム名及びウェアー規定について (理事会承認)

・チーム名について

- 国内の代表選考会で選出されたチームが、IDBF、ADBF 主催の世界選手権、アジア選手権などの国際大会に出場する場合、そのチームの名称は、「オールジャパン(All JAPAN)」「日本代表」「日本選抜」など「日本」「ジャパン」という表現を名称の全部又は一部に使用することが可能です。

(例)・「ALL JAPAN」、「ALL JAPAN 磯風」「磯風日本選抜」などは可能

- 一般チームが海外の交流大会に出場する場合は、「オールジャパン(All JAPAN)」「日本代表」「日本選抜」など「日本」「ジャパン」という表現を全部又は一部に使用することは不可ですが、「チーム名」で参加することは可能です。

(例)・「チーム未来」「磯風漕友会」などは可能

- ・「ALL JAPAN 磯風」「磯風日本選抜」などは不可

・レースウェアーについて

- 国内の代表選考会で選出されたチームが、IDBA、ADBF 主催の世界選手権、アジア選手権などの大会に出場する場合は、競技ウェアーなどに「国旗」を掲載すること及び「オールジャパン」「日本代表」「日本選抜」「日本」「ジャパン」の表記を入れることは可能です。また、JDBA ロゴマークを使用することも可能です。

(例)



(可能例)

- ① ALL JAPAN

- ② ALL JAPAN チーム名
- ③ 日本選抜
- ④ 日本選抜 チーム名

○一般チームが海外の交流大会に出場する場合は、「国旗」「日本」「ジャパン」の表記及び JDBA ロゴマークを入れることは可能ですが、「オールジャパン」「日本代表」「日本選抜」という日本の代表と認識される表記は使用できません。

(可能例)

- ① チーム名の単独表記
- ② JAPAN+チーム名

※JAPAN とチーム名は切り離して表記ください。

(不可)

- ① JAPAN のみは×

(例)



(2024年11月9日制定)

・レースウェアの広告掲載について

海外大会に参加する時のレースウェアについては、主催者及び日本ドラゴンボート協会の承認が必要です。

IDBF ルールでは、レースウェアに掲載する広告は、縦 5 c m × 横 幅 2 0 c m 内のサイズで、突飛な広告表現や配色は禁じられています。

具体的に、広告スポンサーが決まった段階で J D B A 事務局まで事前にご相談ください。

③ 新規都道府県協会設立について

熊本県水俣市での国内 13 番目の所属協会の発足について
水俣市競り舟協会 清水真人理事長

④ 2025年6月－2027年5月末 JDBA 役員体制案 (承認事項) →承認

(敬称略)

◎会長	松川るい (自民党参議院議員)
◎筆頭副会長	矢田節彦
副会長	櫻井顕一 (代表理事)
副会長	後藤幸弘 (理事)
◎理事長	長谷川伸 (代表理事・競技委員長)
◎副理事長	菖蒲誠 (代表理事・国際統括・アジアラケット連盟副会長)
◎常任理事	鎌田敦士 (用器具統括)
常任理事	原田直己 (医事委員長)
常任理事	木村一郎 (普及副委員長)
常任理事	森永裕幸 (国際委員長)
常任理事	半田佳彦 (強化委員長)
常任理事	楡木栄次郎 (強化委員会オープン・混合担当)
◎理事	後藤幸弘 (科学技術委員長)
理事	宮村一 (評議委員長)
理事	合田靖海 (広報普及委員長)
理事	山脇秀鍊 (安全委員長)
理事	石川平明 (用器具委員長)
理事	利波敏行 (営業法制委員長)
理事	松尾由佳 (国際担当)
◎事務総長	谷達也 (国内統括)
事務局員	相馬理恵 (日本選手権受付・登録担当)
◎相談役	竹末佳紀
◎各専門委員長	
競技委員長	長谷川伸
強化委員長	半田佳彦 (強化委員会混合担当)
評議委員長	宮村一
審判委員長	高橋裕嗣
安全委員長	山脇秀鍊
セーフティアドバイザー	伊藤裕樹
国際委員長	森永裕幸
用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海

医事委員長	原田直己
アンチドーピング委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎国際委員会委員	野尻恵子
強化委員会委員	河田英幸（強化委員会女子担当）
〃	高橋雅彦（強化委員会オープン担当）
評議委員会委員	山脇秀錬（評議委員会副委員長）
〃	岩城耕一（評議委員会副委員長）
〃	高橋冬扇（評議委員会副委員長）
用器具委員会委員	池田和也（用器具委員会副委員長）
アンチドーピング委員会委員	森岡幸雄
〃	森岡真弓
科学技術委員会委員	村田和隆（科学技術委員会副委員長）
〃	松田光弘、田中譲、越智祐光、灘本雅一
医事厚生委員会委員	杉浦 丈仁（たけひと）・「森薬局」管理薬剤師・ スポーツファーマシスト※選手の薬の質問・相談窓口
普及委員会委員	丸山春海
◎外部会計監査	田中豪（公認会計士・税理士）
税理士	壇成俊
司法書士	田中史子

※定款により理事は4人以上、18人まで。（JDBA定款「第17条 理事の員数」）

理事会議事録

令和7年6月22日午後10時30分、大阪市浪速区湊町二丁目1番57号 株式会社産業経済新聞社大阪本社8階において理事11名（総理事数16名、別途委任5名）の出席のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、午後1時00分散会した。

議案 代表理事並びに理事長及び副理事長選定の件

理事・長谷川伸は選ばれて議長となり、今般、代表理事並びに理事長及び副理事長を選定する必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を選定した。

なお、被選定者は、席上就任を承諾した。

代表理事（理事長）	長谷川 伸	代表理事（副理事長）	菖蒲 誠
代表理事	櫻井 顯一		

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事が次に記名押印する。

令和7年6月22日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会理事会

議長代表理事	長谷川 伸	代表理事	櫻井 顯一	代表理事	菖蒲 誠
					
					
理事	後藤 幸弘	理事	原田 直己	理事	木村 一郎
					
理事	森永 裕幸	理事	半田 佳彦	理事	榆木 栄次郎
理事	宮村 一	理事	合田 靖海	理事	石川 平明
					
理事	利波 敏行	理事	松尾 由佳	理事	鎌田 厚
					
理事	山脇 秀鍊				
					




定時社員総会議事録

1. 日 時：令和7年6月22日 午後2時
2. 場 所：大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
株式会社産業経済新聞社大阪本社8階
3. 出席者：議決権のある社員総数 85名
総社員の議決権の数 85個
出席社員総数（委任状出席を含む） 48名
この議決権の総数 48個
4. 議長理事：長谷川 伸
5. 出席理事：櫻井 顯一、後藤 幸弘、菖蒲 誠、原田 直己、木村 一郎、
森永 裕幸、半田 佳彦、榆木栄次郎、宮村 一、合田 靖海、
山脇 秀錬 石川 平明、利波 敏行、松尾 由佳、鎌田 厚
6. 出席監事：田中 豪
以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、理事長・長谷川伸は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2024年度事業報告及び2024年度JDBA登録チーム報告の件
議長は、2024年度の実業報告及び2024年度 JDBA 登録チームの報告を行った。

第2号議案 2024年度決算報告の件
事務総長は、2024年度の決算報告を述べ、議長が一同に踏ったところ、全員一致の承認を得た。

第3号議案 2024年度会計報告・会計監査・業務監査の件
監事田中豪は、2024年度の実業執行状況及び本社員総会において提出される計算書類については、いずれも法令及び定款に適合し、いずれも正当・妥当に処理されている旨を報告した。
また、増税理士より正味財産増減計算書及び調整表の説明があった。

第4号議案 2025年度予算の件

事務総長は、2025年度の予算計画を述べ、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第5号議案 2024年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細報告の件

議長は、2024年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細につき、詳細に報告した。

第6号議案 2025年度事業計画とJDBA関連大会日程の件

議長は、2025年度の実業計画及びJDBA関連大会日程を詳細に説明した。

第7号議案 2024年度各専門委員会報告と2025年度活動方針の件

各専門委員長より2024年度の活動報告と2025年度活動方針が報告された。

第8号議案 日本選手権に競技役員として参加するJDBA理事に対する謝金・旅費支給承認の件

事務総長は、2025年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加するJDBA理事16名に対して、謝金・旅費として、一人2,000円を支給したい旨を説明し、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第9号議案 海外大会参加時のチーム名及びウェアの規定の件

事務総長は、海外大会参加時のチーム名ウェアの規定の詳細を説明し、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第10号議案 新規都道府県協会設立の件

議長は、熊本県水俣市において国内13番目の所属協会の発足につき、詳細に説明し、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第11号議案 定款一部変更の件

議長は、定款第36条を削除したい旨及びその理由を詳細に説明した上で、一同に諮ったところ、全員一致をもって、承認可決された。

第12号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員が本定時社員総会終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任した。

なお、出席被選任者は、席上就任を承諾した。

理事	長谷川 伸	理事	櫻井 顯一	理事	菖蒲 誠
理事	後藤 幸弘	理事	原田 直己	理事	木村 一郎
理事	森永 裕幸	理事	半田 佳彦	理事	榆木 栄次郎
理事	宮村 一	理事	合田 靖海	理事	石川 平明
理事	利波 敏行	理事	松尾 由佳	理事	鎌田 厚
理事	山脇 秀鍊				
監事	田中 豪				

第13号議案 JDBA新役員選定の件

議長は、2025年6月より2027年5月末までのJDBAの新役員につき、別紙のとおり選任したい旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、別紙のとおり新役員を選任した。

7. 閉 会：議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後4時30分閉会を宣言した。

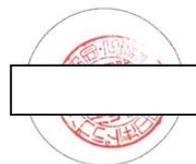
以上の決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和7年6月22日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会

議長代表理事兼

議事録作成者 長谷川 伸



委任状

大阪府寝屋川市東香里園町21番25号
司法書士 田中史子

私は、上記の者を代理人と定め、次の権限を委任します。

1. 当法人の理事、代表理事及び監事の変更登記の申請に関する一切の件
1. 原本還付請求及び受領に関する一切の件
1. 登記申請の取下げ、登録免許税又は手数料の還付又は再使用証明の手続及びその受領に関する一切の件

令和 7 年 6 月 22 日

大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
一般社団法人日本ドラゴンボート協会
代表理事 長谷川 伸

